

平成 27 年

---

---

# 観光客数とその消費額

---

---



---

愛媛県

---

## はじめに

この冊子は、平成 27 年(1 月～12 月)において、県内約 940 箇所の観光地・観光施設への入込み(行事・祭事への参加を含む)等について、市町から報告されたものを基礎として推定したものである。

なお、この冊子に記載の観光客数は、下記のとおり県内を 5 ブロックに分け、各ブロック単位の人数を推定したものである。

( 観 光 地 区 別 市 町 )	
ブロック	構成市町
東 予 東 部 圏 域	四国中央市 西 条 市 新居浜市
今 治 圏 域	今 治 市 上 島 町
松 山 圏 域	松 山 市 久万高原町 伊 予 市 松 前 町 東 温 市 砥 部 町
八 幡 浜 ・ 大 洲 圏 域	八 幡 浜 市 内 子 町 大 洲 市 伊 方 町 西 予 市
宇 和 島 圏 域	宇 和 島 市 鬼 北 町 松 野 町 愛 南 町

## 目 次

I	平成27年の観光客数とその消費額の推定	
1	総括	2
2	県外観光客	4
3	県内観光客	6
4	地区別の動向	8
II	推定の分析	
1	観光の目的別	9
2	観光の時期別（月別）	9
3	県外観光客の発地別	11
4	県外観光客の受入れ観光地別	11
5	宿泊客の利用施設別	12
6	利用交通機関別	12
7	観光消費額支出項目別	12
	参考資料	
1	観光客数とその消費額	13
2	観光地区別観光客数	14
3	交通機関別入込客数	15
4	観光地区別観光客数の推移	18
5	主要観光施設利用者数	20
6	宿泊施設宿泊者数	23

## I 平成27年の観光客数とその消費額の推定

### 1 総括

観光客総数	27,085 千人(延)
観光客消費総額	1,101 億円

- (1) 平成27年の県外及び県内観光客総数は、27,085 千人(延)と推定され、前年に比べ617 千人(延) (2.3%) の増加となっており、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成11年の26,469 千人(延) を上回り、過去最高値を更新した。

このうち県外観光客数は、11,323 千人(延)で、前年に比べ4.0%の増加、県内観光客数は、15,762 千人(延)で、前年に比べ1.2%の増加となった。

観光客総数が増加した要因としては、

- ・四国遍路日本遺産認定及び国の広域観光周遊ルート認定
- ・松山圏域における「道後アート2015」の開催
- ・八幡浜・大洲圏域における道の駅「佐田岬はなはな」のオープン及び観光列車「伊予灘ものがたり」の影響
- ・宇和島圏域における「宇和島伊達400年祭」の開催
- ・鬼のモニュメントなど観光施設におけるリニューアル
- ・前年に比べ天候に恵まれイベントの中止が少なかったこと

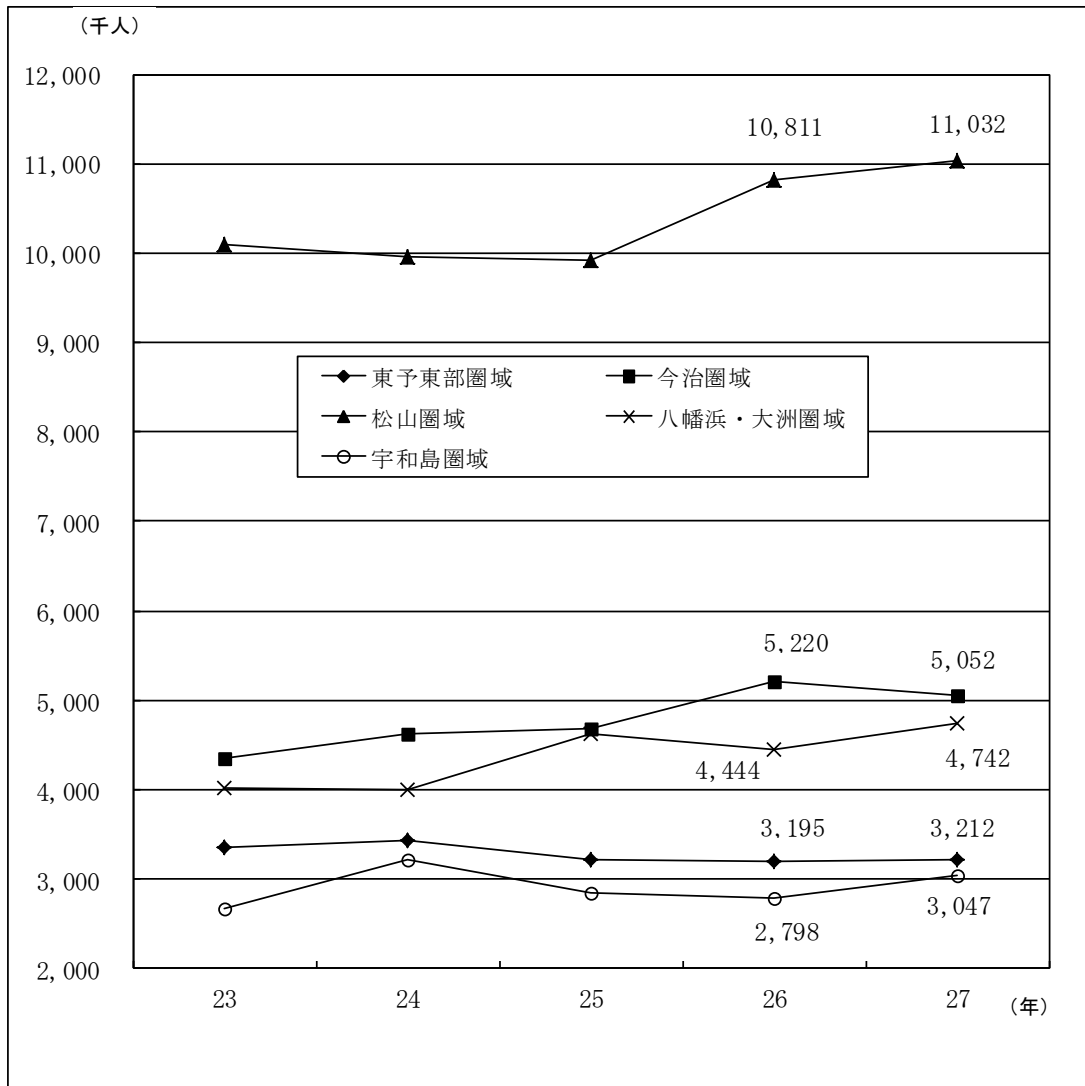
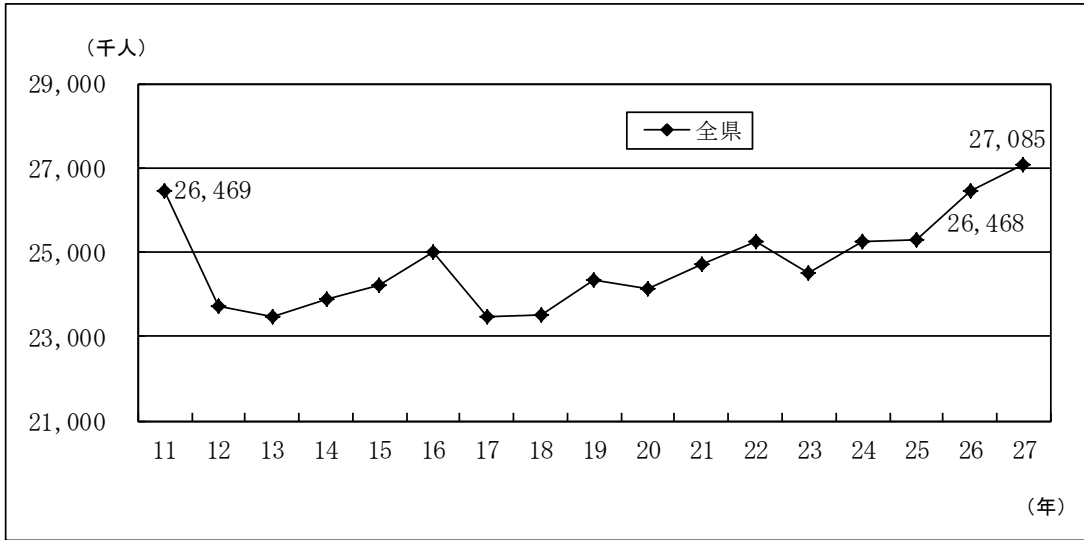
などの影響により、観光客総数が増加したと思われる。

地域別に見ると、東予東部圏域で17 千人(延)、松山圏域で221 千人(延)、八幡浜・大洲圏域で298 千人(延)、宇和島圏域で249 千人(延)の増加となったが、平成26年に開催した「瀬戸内しまのわ2014」の反動減により、今治圏域は168 千人(延)の減少となった。

- (2) また、観光客消費総額は、1,101 億円と推定され、観光客数の増加により11 億円(1.0%) の増加となっており、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成11年の1,238 億円で、過去2番目の数字を記録した。

支出項目別に見ると、宿泊費で4 億円、土産品購入費で8 億円、域内交通費で1 億円増加となったが、その他で2 億円の減額となった。

観光客総数の推移



## 2 県外観光客

県外観光客数	11,323 千人(延)
県外観光客消費額	980 億円

### (1) 県外観光客数

県外観光客数は 11,323 千人(延)と推定され、前年の 10,891 千人(延)に比べると 432 千人(延) (4.0%)の増加となっており、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成 11 年の 11,173 千人(延)を上回り、過去最高値を更新した。

県外観光客数が増加した要因としては、

- ・ 四国遍路の日本遺産認定及び国の広域観光周遊ルート認定
- ・ 松山圏域における「道後アート 2015」の開催
- ・ 八幡浜・大洲圏域における観光列車「伊予灘ものがたり」の影響
- ・ 宇和島圏域における「宇和島伊達 400 年祭」の開催

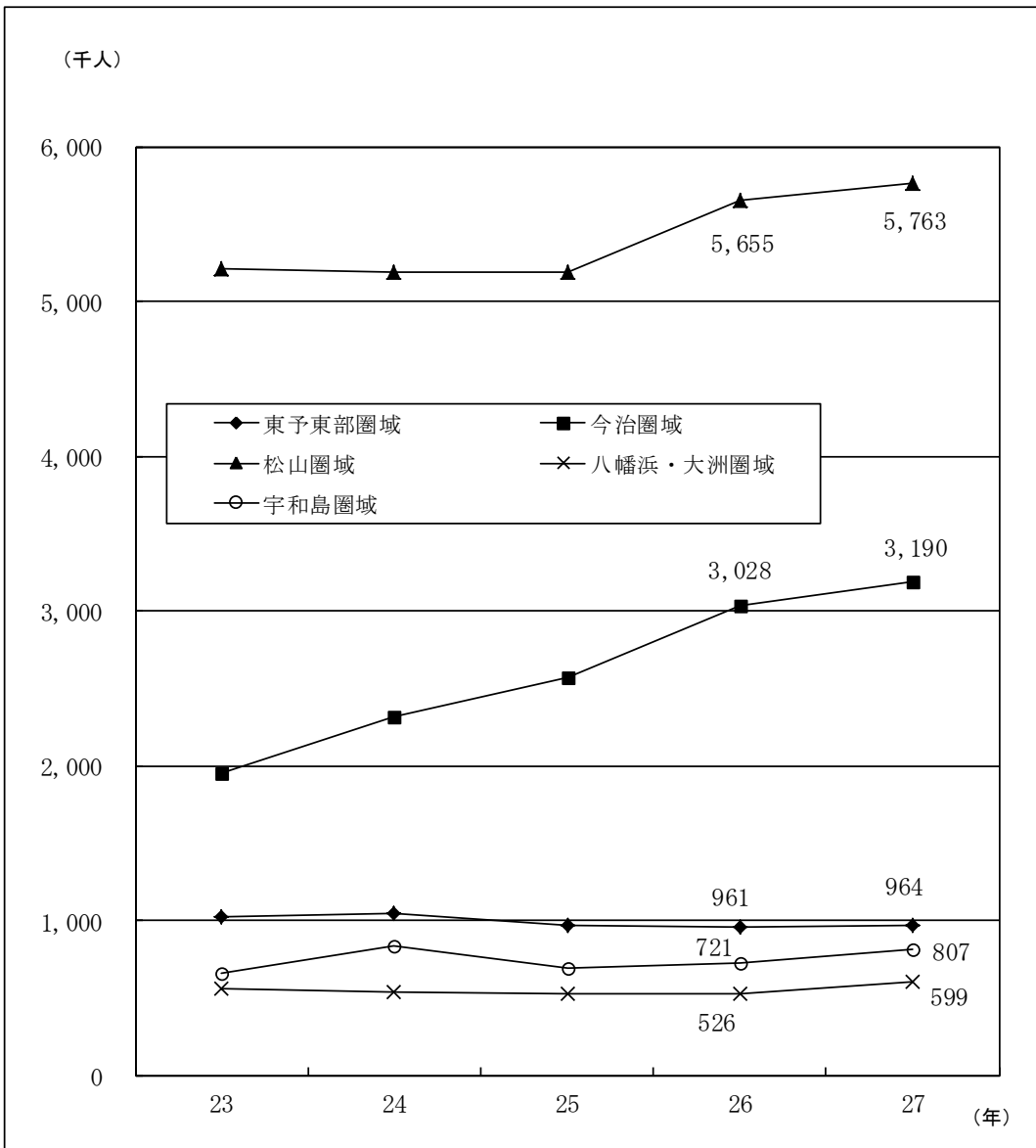
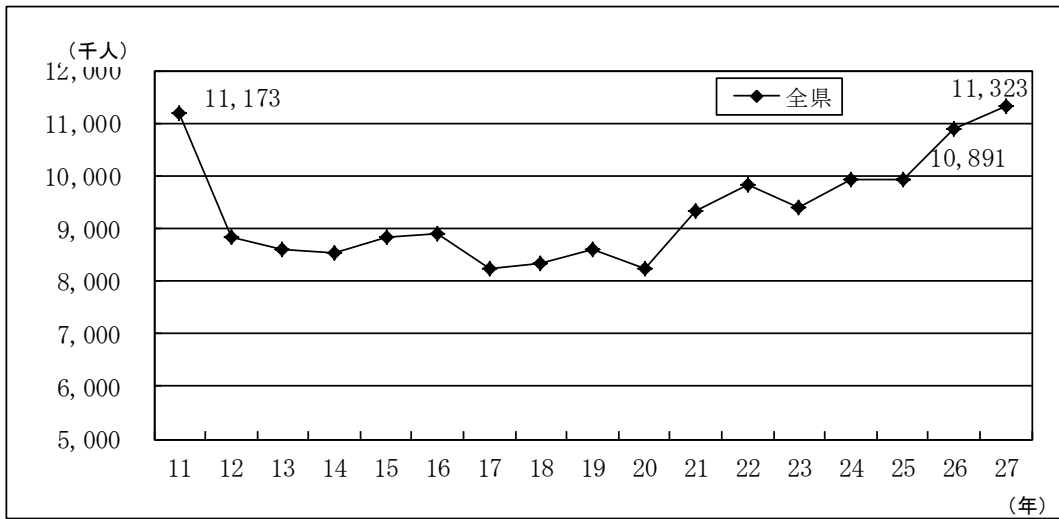
などの影響により、県外観光客数が増加したと思われる。

地域別に見ると、東予東部圏域で 3 千人(延)、今治圏域で 162 千人(延)、松山圏域で 108 千人(延)、八幡浜・大洲圏域で 73 千人(延)、宇和島圏域で 86 千人(延)と、全地域で増加した。

### (2) 県外観光客消費額

県外観光客消費額は、観光客数が増加したことにより、980 億円と前年の 968 億円と比べると 12 億円(1.2%)の増加となっており、瀬戸内しまなみ海道が開通した平成 11 年の 1,103 億円に次いで、過去 2 番目の数字を記録した。

県外観光客数の推移



### 3 県内観光客

県内観光客数	15,762 千人(延)
県内観光客消費額	121 億円

#### (1) 県内観光客数

県内観光客数は15,762千人(延)と推定され、前年の15,577千人(延)に比べると185千人(延)(1.2%)の増加となっている。

県内観光客総数が増加した要因としては、

- ・道の駅「佐田岬はなはな」のオープン
- ・道の駅「森の三角ぼうし」敷地内への鬼のモニュメント建立

などの影響により、県内観光客数が増加したと思われる。

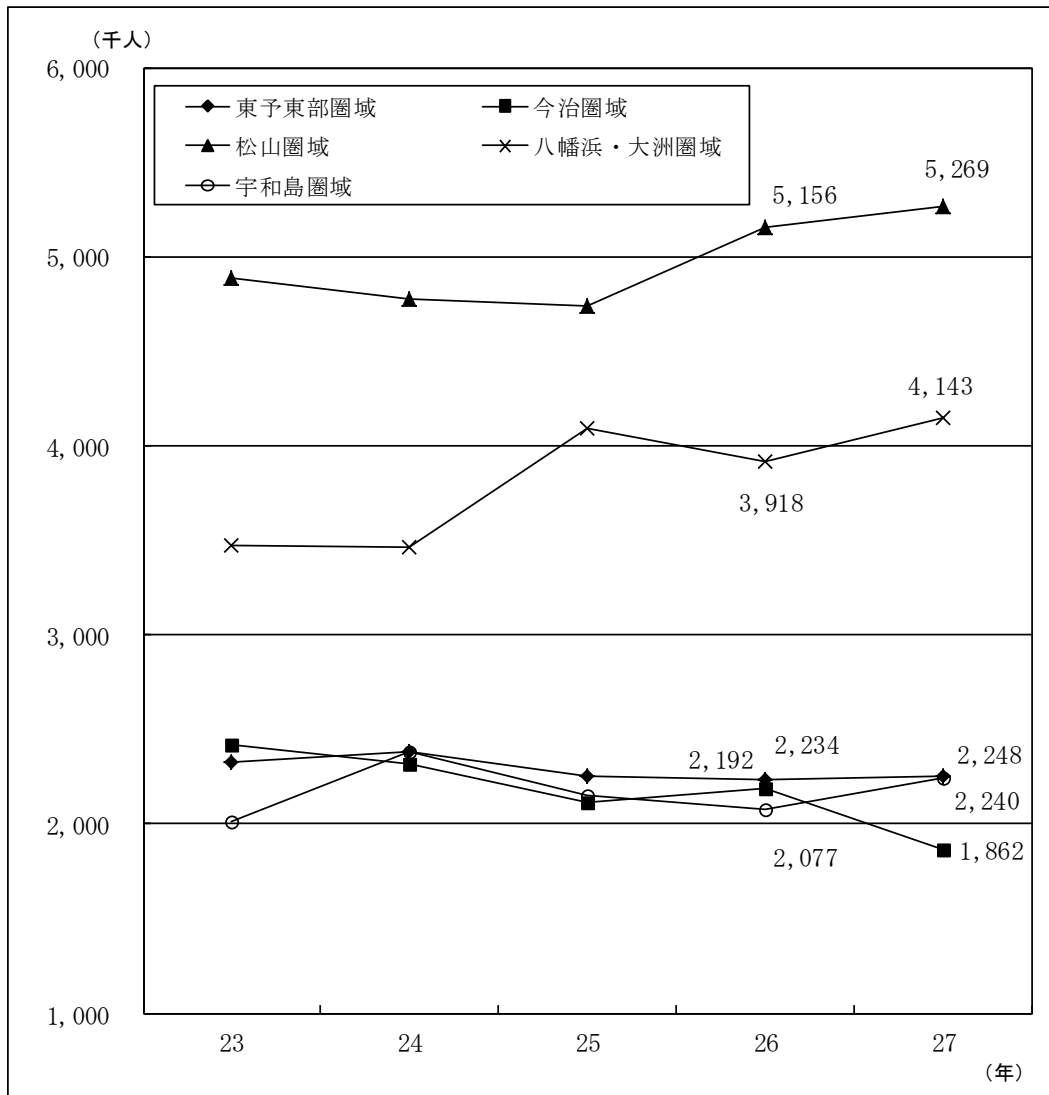
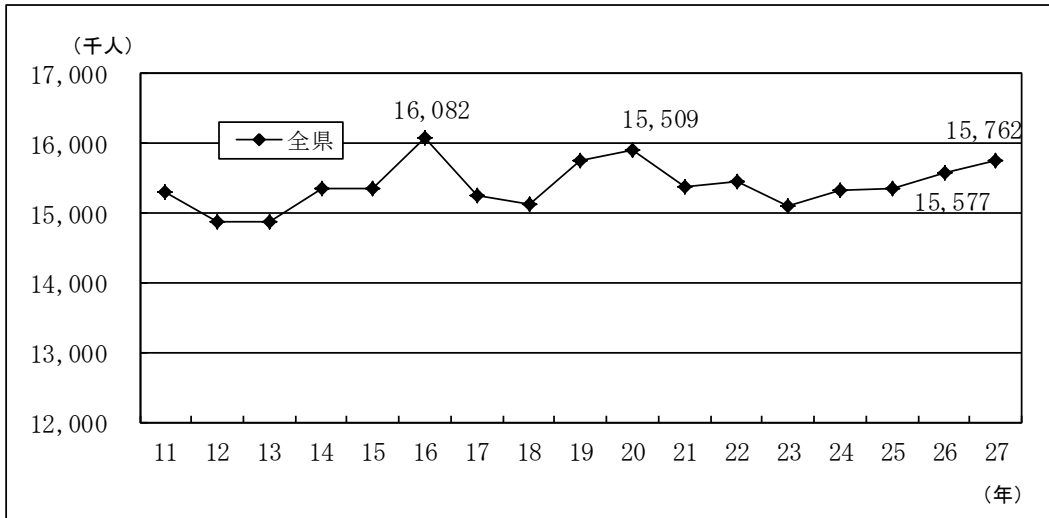
地域別に見ると、東予東部圏域で14千人(延)、松山圏域で113千人(延)、八幡浜・大洲圏域で225千人(延)、宇和島圏域で163千人(延)の増加となったが、今治圏域で330千人(延)の減少となった。

#### (2) 県内観光客消費額

県内観光客数は増加したものの、県内観光客消費額は121億円と前年の122億円と比べると1億円(0.8%)の減少であり、県内観光客一人当たりの消費額単価が低くなっていることが分かる。



県内観光客数の推移



#### 4 地区別の動向

- (1) 東予東部圏域は、県外客 964 千人(前年比 0.3%増)、県内客 2,248 千人(前年比 0.6%増)となった。
- (2) 今治圏域は、県外客 3,190 千人(前年比 5.4%増)、県内客 1,862 千人(前年比 15.1%減)となった。
- (3) 松山圏域は、県外客 5,763 千人(前年比 1.9%増)、県内客 5,269 千人(前年比 2.2%増)となった。
- (4) 八幡浜・大洲圏域は、県外客 599 千人(前年比 13.9%増)、県内客 4,143 千人(前年比 5.7%増)となった。
- (5) 宇和島圏域は、県外客 807 千人(前年比 11.9%増)、県内客 2,240 千人(前年比 7.8%増)となった。